

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	StepUP時田通町教室		
○保護者評価実施期間	2024年10月1日		～ 2024年11月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2024年10月1日		～ 2024年11月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	公開トレーニングを行い、保護者様や別事業所の職員の方に広く見ていただき、児童の日頃の様子や成長を感じて頂いている。公開トレーニングで第三者の方々にも事業所の取り組みの評価も頂いている。	年に1度11月に1週間の公開トレーニングを行い、地域などに開けた事業所づくりを意識している。また、児童の社会性の向上を図り、家族参加型のイベントなどを開催し家族交流の機会や家族支援にも繋げている。	年に1度の公開トレーニングは、引き続き行い、新規の方が多く入会したタイミングでも追加で行うなど、回数や開催時期についても検討していく。また、専用のアンケート表なども作成しながら第三者の方の評価も頂きながらより良い事業所を目指していく。
2	保育士、社会福祉士、児童指導員(教員免許取得済)が常時勤務できていることもあり、多方面から様々なアプローチが可能になっている。	児童との関わりで遊ぶ、真似ぶから始め少しずつ人との関わり、児童との関わりをしながら、玩具の貸し借りなどスムーズに出来るように間に入りながらコミュニケーションをとっている。	引き続き未就学児童には可能な限り1:1のマンツーマンで職員が付けるような体制づくりや、職員研修をこまめに行いながら、支援の強化につなげていく。
3	SSTに注力した集団療育を行い、その中で運動トレーニングを提供している。多くの運動能力を伸ばせる為、また児童が楽しく通所出来る為、毎日毎時間固定化しない活動プログラムを提供している。その中で1度も大きな事故や怪我が発生していない。	活動プログラムが固定化されないように常勤職員を中心にみんなで相談共有しながら、児童の特性や児童の年齢に応じプログラムを立案している。視覚支援としてマットの色分けやイラストでの指示、集団療育の中での1:1の個別指導を行い、児童のペースに合わせて療育を行っている。	その日、その時間にいる児童の特性や年齢に合った活動プログラムを職員全体で考え意見を出し合いながら共有し、児童同士の交流が出来るようなトレーニングや支援を行っている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会が少ない。	平日の放課後対応時間割と、土曜日や長期休暇の休校日対応時間割で運動学習、コミュニケーションのトレーニングを行っている関係上なかなか地域の児童と交流する時間がとれない。	近隣の商店街や、夏祭りなど地域の行儀事にイベントや少しでも時間を作って、子ども達が参加できる機会を作っていくたい。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 StepUP蒔田通町教室

令和7年 3月 1

公表日 日

利用児童数 8人

回収数 4人

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	0	0	0	広いマットがあって安心です。	学習机は端に寄せて活動スペースを確保している。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4	0	0	0	専門的な知識がないのでしっかりと分 かりませんが、多くの職員さんがいつも いてくださっています。	未就学児や不慣れな児童に対しては、職 員がほぼマンツーマンで付けるように職 員を配置している。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	0	0	0	物が分かりやすく置いてあると思います。	視覚優位の児童が多い為、できるだけこ に な があるか等を紙面に書いて掲示したり と、分かりやすいようにしていきたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	0	0	0	掃除がいき届いていると思います。	色付きマットの位置を変えたりと、活動 しやすく工夫している。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	4	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	4	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	4	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。	4	0	0	0	いつも違ったトレーニングをしていて工 夫されている。	運動トレーニングやコミュニケーショント レーニング共に、毎日、毎時間異なるト レー ニングを常勤職員みんなで回しながら提供し ている。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと 活動する機会がありますか。	3	0	0	1	入会したばかりで分からない。	今後は近隣のお祭り等にも時間を作り参 加していきたい。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	0	契約を午前中の子どものいない時に行 い、詳しく説明してくれて助かった。	今後も時間をとり、事業所に関する様々 な説明は丁寧に行っていきたい。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	0		契約時や面談時に説明するようにしてい る。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー ニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	4	0	0	0		支援時間以外にお電話やメール等で保護者様の悩み 事などをいただき、アドバイスや解決法などを提示 しながらご家族様と共に支援を進めている。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていますか。	4	0	0	0		送迎の際に本日の活動の様子をお伝え し、成長を共有している。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	0	0	0		少なくとも半年に一度の面談を必ず行っ ている。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	0	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	0	0	会はないが、仲良くさせてもらっている 方はいる。送迎時など話す機会はある。	ゴールデンウィーク期間中に家族参加型 のイベントを初めて開催したので、継続 して頻度を多くしていきたい。	
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	3	0	0	1	まだ具体的に相談をしていないので分か らないです。	申し送りなどで相談があった際には、す ぐに職員で共有し、保護者様には対応の ご説明をしている。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	0	0	0	行き帰りの送迎時に情報など話してもらえて安心しています。	送り迎えに来てくださっている保護者様には、口頭で様子などをお伝えし、加えて週に1回週次日報として教室内での様子を紙面で配布している。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	0	0	0	楽しそうな活動内容を見て思わず涙が出ます。ありがとうございます。	月に1回通信を配布し、日々の活動内容といったブログは毎日更新している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	0	0	0	書類もきちんととられていて顔写りにも配慮されています。	職員内でも職員を代えて二重チェック、三重チェックをし個人情報には気を付けている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	0	0	0	契約時に説明を受けました。	契約時に丁寧に説明していく。また、変更点などあればすぐにお知らせをしている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	0	0	0	避難場所まで行きました。	児童の避難訓練は年に2回5月と10月に行っており、職員の避難訓練も年に1回行っている。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	0	0	0	事故等これまでありませんが、細かく説明などしてください。	怪我がなくともぶつけたことや小さなことも送迎などに、共有をするようにしている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4	0	0	0		子ども達がこれまで通り事故なく、怪我なく過ごしてもらえるように職員一同意識していきたい。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4	0	0	0	入室でストップの音がしないと止まらないくらい楽しみにしています。	日々の活動で子ども達も飽きないように退屈にならないように、毎日毎時間トレーニング内容を変えて提供している。
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	0	0	0	時間的に小腹がすくのでおやつをそちらで食べてからトレーニングに参加できるのがありがたいです。いつもありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	StepUP時田通町教室		公表日		令和7年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	イベントなど場合によっては狭いと感じることもあるが、活動スペースを区切るなど工夫をしている。	イベントの時に多少狭いようにも見えるので、利用人数調整や場所の区分けなどを行ってきたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	正職員で二重チェックをしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3	イラストや文字を書き視覚支援として掲示などを行っている。	掲示物等が多く、注意散漫になってしまう可能性があるため、検討してきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	色付きマットの位置を変えたり教室内のルールを決めて掲示するなど、子ども達が活動しやすいように工夫している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	痲癩などを起こした際に落ち着くために、職員と個室に入れるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	常勤職員を中心に朝礼や昼礼、終礼で反省や今後の対応などを話している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	月に一回、職員会議の場で必ず意見をいう機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	公開トレーニング等を行い第三者からの評価等を取り入れている。	全職員にしっかり共有をしていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	月に1度様々な内容の研修を受けており、非常勤職員など参加できていない職員にも後日伝達研修として研修を行っている。その他の研修も同様に対応をしている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	管理者、児発管を中心にその他の職員も含めて支援プログラムを作成し公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	半年に一回アセスメントシートとして保護者様にニーズや課題を記入していただき、それを基に保護者様と面談を行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	毎月、児童の支援会議を必ず行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	支援計画書を別紙で準備し、非常勤職員もいつでも見れるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2	標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントはあまり行っていない。	ツールを用いてもアセスメントを行うことを検討してきたい。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	4	ガイドラインはいつでもすぐに見られるようにしており、保護者様に説明しながら本人支援や家族支援等を設定している。	職員でガイドラインの共有をし、多くの意見を話し合っていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	困った時は相談、共有をしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	運動トレーニングは未就学児の出来る事を考慮しながら毎日、毎時間異なるトレーニングを常勤職員みんなで回しながら提供している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	強制的にトレーニングに参加させることなく、自発性を促している為職員をマンツーマンで付けて、個別支援も行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	常勤職員、非常勤職員みんなで必ず今日の活動の打ち合わせや、気を付ける事など共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	常勤職員は終礼時に1日の振り返りを行っているが、非常勤職員は退勤の時間がそれぞれ異なるため、全体ではなく各々で振り返りを共有し、後日全体で共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	個別支援計画書の目標に基づきながら、日々欠かさずに支援の記録をとっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	毎月支援会議を行い、児童一人に対して少なくとも半年に一度の放課後等デイサービス計画の見直しを保護者様との面談を通して行う	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	ケース会議など必要に応じて児発管が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	4		対象児童が少ない為、今後はもっと連携を増やしていきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	4		他事業所との連絡を今年度から増やしているので、継続していきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	4		これまでの児童発達支援事業所での様子や気を付けていることなど、学校と密に連絡をとり情報共有をしていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	4	常勤職員は中部療育センターの見学会や研修に毎年職員を代えながら参加している。また、その後には伝達研修を全職員参加の会議時に報告している。	常勤職員に限らず、非常勤職員も機会があれば積極的に参加していきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	8		必要としない保護者様も多いが、近隣のお祭りなどにイベントとして行く計画なども考えていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	送迎時に本日の児童の様子等を必ずお伝えし、加えて毎週1回週次日報として児童の様子が書いているものを書面で配布している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3		他施設とも連携をしながら、イベント等企画しながら家族支援プログラムを進めていきたい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時にご来所していただき、必ず対面で約1時間程度時間をもって丁寧に説明をしている。また、変更時も書面を作成し説明をして	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	保護者様との面談時に「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、同意をえている。保護者様のご要望でその場で異なる支援内容に変更することもある。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	支援時間以外にお電話やメール等で保護者様の悩み事などをいただき、アドバイスや解決法などを提示しながらご家族様と共に支援を進めている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	8		保護者会等を希望しない方が多いが、家族参加型のイベントを多く企画し、ご家族同士の交流できる場を検討していきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	クレーム対応の研修を行い、適切な対応に努めている。困った際は、職員で共有し相談し迅速に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	毎日ブログの更新、毎月通信の配布を行っている。また、イベントチラシを都度配布し、教室内と教室外に掲示をしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	研修を行い、ブログなど顔出しのチェックなどは、職員2.3人で行っている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	イラストカードを用いている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5	公開トレーニングを行い近隣事業所や、区役所にチラシを配布し第三者の目が入るように開けた運営をしている。	公開トレーニングの他にも地域の方と一緒にできることを模索していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	各マニュアル等はいつでも見ることのできる場所に置いてある。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	4	年に2回児童と職員が一緒に行う避難訓練を実施し、別でビル一体となって職員のための避難訓練、避難器具の使い方など定期的に行っている。	職員みんなでBCP作成の話し合いを行い、都度見直しを行っていきたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	半年に一度新しく受診したかなどを、紙面と口頭でお聞きしている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	6	アレルギーがある児童はおやつなど含め、持ち帰り対応にし、保護者様に説明をしている。	必要に応じて、保護者様と連絡をとり医者との連携も検討していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	4		安全計画を都度職員で見直し、より良いものを提供していきたい。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	サイン欄を設けて全員が確認したことがひと目でわかるようにしている。また、全職員参加の会議で改めて振り返るようにしている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	現在該当者がいないが、身体拘束等の研修や話し合いは行っている。		